

3.17 産学連携部門

部門長 井手信二

【部門概要】

産学連携部門では、産業界、大学等の研究ポテンシャルを結集する核となり、委託研究、共同研究、受託研究等の多面的な研究開発スキームにより戦略的に研究開発を推進し、併せて研究開発人材を育成するため、産学官連携の推進に積極的に取り組み、社会に還元し得る成果創出を実現していくことを目指している。

(1) 共同研究の推進

外部の研究リソースの有効利用による効率的・効果的な研究開発を推進するため、通常のコミュニケーションに加え、「委託付共同研究」、「資金受入型共同研究」、「施設等利用協力研究」を行っており、これらの契約締結のための支援業務を実施している。

また、共同研究や技術移転の事前準備のために締結する「秘密保持に関する契約」についても、同様に契約締結のための支援業務を実施している。

(2) 大学等との連携、研究者交流の推進

大学等と幅広い相互協力を促進するための情報通信分野の連携促進に関する協定、連携大学院制度に基づく大学院等との教育研究に関する協定を締結している。

また、研究開発人材の育成のため、研究者、研修員の受け入れ等を推進し、そのための支援業務を実施している。

(3) 委託研究（高度通信・放送研究開発委託研究）の推進

外部機関が持つ実績や知見を活用するとともに、NICT 自らの研究と一体的に実施することで効率化が図られるものについて、外部の研究能力等のリソースを有効利用して効果的かつ効率的な研究開発を推進している。この委託研究の実施にあたっては、NICT が研究開発課題を示して公募し、評価委員会の評価を参考として、NICT にて受託者を決定している。

(4) 受託研究の推進

NICT の技術的ポテンシャルを生かした受託研究等を推進し、国の政策課題解決に積極的に貢献するとともに、NICT 自らの研究開発能力の向上、新たな技術シーズの創生を図っている。また、競争的資金獲得を推進し、研究者の自発的な研究能力の向上、競争力の向上を目指している。

【主な記事】

(1) 大学等との相互協力協定

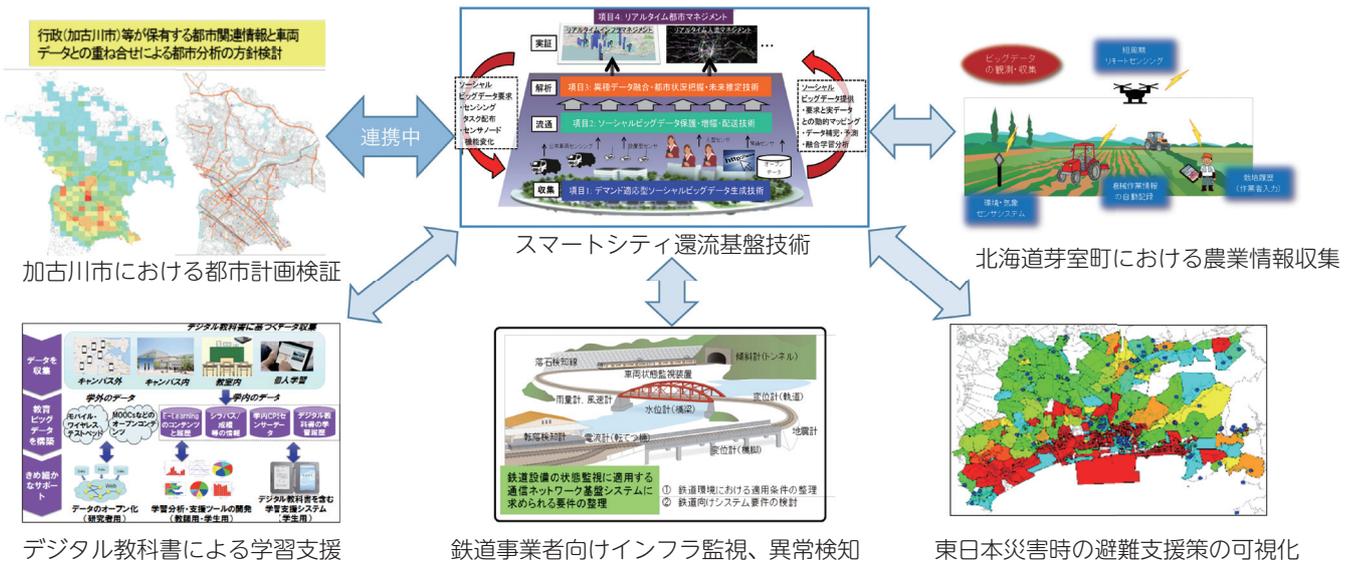
情報通信技術の利活用等を推進することにより、社会に貢献し、地域社会の発展及び市民福祉の増進に寄与することを目的とした協定を京都府と締結した。

また、東北大学と機構との連携・協力をより一層深めるため、双方の研究ポテンシャルを掛け合わせるにより、新たな共同研究テーマを掘り起こすためのフィージビリティスタディを支援するマッチングファンドを平成 28 年度から導入することとした。

(2) ソーシャル・ビッグデータ利活用基盤技術の研究開発

ビッグデータの利活用を通じて、様々な社会的課題の解決、新たなサービスの創出等を目指し、研究開始 2 年目を迎えた 22 課題の委託研究の受託者に対して、新たな取組として追加提案（プライズ）を募集し、順調な進捗や拡充が期待できる 6 課題に対して追加配算を実施した。

また、将来の基盤技術として期待できるスマートシティ還流基盤技術（慶應義塾大学）を中心とした、22 課題の横連携の可能性を模索し、更なる地域・社会的課題解決に向けたソーシャル・ビッグデータ利活用基盤技術の拡充の土台作りを行った。



3
活動状況

(3) 外部資金獲得推進

外部資金への応募支援、外部資金獲得のための講習会開催などにより、外部資金の獲得を推進した。平成27年度は、公募型受託研究(50件:18.3億円)、研究助成金受け入れ(91件、2.9億円)など、NICT全体で計152件、35.7億円の外部資金を獲得した。